



第75期 中間事業報告書

平成27年4月1日 >>> 平成27年9月30日



 日本出版貿易株式会社

証券コード：8072

日本出版貿易株式会社 (JPT) が異文化交流の架け橋となる国際ネットワーク

海外での事業活動

当社及び当社グループは、創立以来、わが国の優良出版物をはじめ音楽・映像ソフト及び伝統文化的な雑貨やクールジャパン商品などを海外の大学図書館、世界の国々で活躍する日系在留邦人、日本研究機関、日本人学校などへ輸出するとともに、海外から

も洋書、音楽CD及び雑貨などを輸入してきました。現在、このような事業は、当社と海外主要拠点に配置した当社の子会社、関連会社などを結んだ国際ネットワークを通じて、活発に行われています。

JPTグローバルネットワーク

JPT EUROPE LTD.

2000年英国ロンドンの三越内に書店として設立。2013年9月三越閉館に伴い単独の路面店として移転オープン。現在は店舗経営だけでなく日本語教材・語学書、英文書、音楽ソフト、日本雑貨品などの卸販売の拡販を推進しています。欧州地域市場の開拓と日本語学書の拡販の成果で経営は堅調に推移しています。

- 住所：24-25 Denman Street, London W1D 7HU, U.K.



CULTURE JAPON S.A.S.

1997年に設立されたパリ日本文化会館内に日本文化紹介と日本雑貨品・出版物販売の店舗として営業を開始し現在に至ります。日本語普及の為にフランス日本語スピーチコンテストなどの企画と運営に協賛しています。その結果、フランス国内大学からの日本語教科書の採用による注文も拡大しています。

- 住所：101 bis, Quai Branly, 75015, Paris FRANCE



株式会社日貿出版社

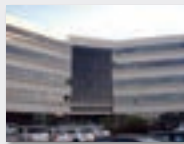
水墨画・水彩画等の趣味、実用書を中心に出版を行っており、全国の書店や海外からも好評を得ています。

- 住所：東京都文京区本郷5-2-2

JPT AMERICA, INC.

1962年設立以来、当社の米国拠点として日本語教材・語学書、和書籍・和雑誌、日本文化関連英文出版物、ファッション文房具、紙製品、デザイングッズ、音楽・映像ソフトなどの卸販売を行っています。また、米国製品の日本への輸出、情報収集と本社駐在業務など重要な役割も担っています。

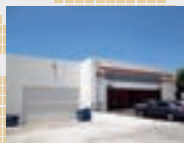
- 住所：400 Oyster Point Boulevard, Suite 426, South San Francisco, CA94080, U.S.A.



L.A. Office

日本との輸出入貨物の窓口としての貨物転送業務やニューヨークなど東部地区と南カリフォルニア市場への卸営業を行っています。

- 住所：243 E. Redondo Beach Blvd., Gardena, CA90248, U.S.A.



HAKUBUNDO, INC.

ホノルルを拠点とする和書籍・和雑誌、日本伝統品、文房具、日本語関連出版物、音楽・映像ソフトの小売と卸販売を行っています。2015年11月20日に新店舗を開店しました。

- 1号店 ● 住所：1050 Ala Moana Blvd Suite #1270 Honolulu, HI 96814, U.S.A.
- 新店舗 ● 住所：1200 Ala Moana Blvd #649 Honolulu, HI 96814, U.S.A.



海外事業部トピックス [HYPER JAPAN FESTIVAL 2015] 出展

当社の欧州におけるイベント出展についてご紹介いたします。英国で最も大規模なクールジャパンイベントである「HYPER JAPAN FESTIVAL 2015」が、2015年7月10日(金)～12日(日)の3日間におたり、ロンドンの複合施設「The O2」で開催され、当社英国現法人JPT EUROPE LTD.が出展いたしました。

8回目の開催となるHYPER JAPANは、回を重ねるごとに入場者数が増え続けており、今回は86,000人も入場者数を記録しました。

恒例のアニメグッズや日本食屋台ブースが好評を博す中、今回の目玉と言える「X Japan」[May J.] といった超大物アーティストのライブ出演により会場は大いに盛り上がりました。

JPT EUROPE LTD.もブースを構え、日本の良質なアイテムを販売すると共に、当社は日本事務局の一員として、物販・輸送の両面で日本からの出展者のサポート

を行いました。

本物のクールジャパンを提供する場として認知度をますます高めているHYPER JAPANにおいて、日本と英国の橋渡し役として今後も当社は邁進して参ります。



私たちは文化事業を通じて、 国際社会に貢献します

代表取締役社長
綾森 豊彦



株主の皆様には、平素より格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境も改善する中、個人消費も底堅い動きとなっており、緩やかな回復基調が続いております。また、海外では米国において個人消費と雇用環境が改善し、景気回復が進んでおります。しかしながら、一方では、中国を始めとするアジア新興国の景気減速、欧州、ロシアや中近東の政情不安など世界経済に影響を与える問題が多く、予断を許さない状況が続くと思われま

す。このような事業環境において当社グループは、商品群ごとの

販売を主とする従来の業態から、国内外のインターネット、デジタル関連市場へ投下可能な商品ジャンルを横断した商材開発など、新しい販売チャネルを利用した事業を推し進めております。

当第2四半期連結会計期間の売上高は、長期低落傾向である出版物に加え、国内音楽市場の冷え込み、新譜の力不足等下落傾向であるCD販売の影響により減収となり37億1千7百万円(前年同四半期比2.3%減)、営業損失1千5百万円(前年同四半期の営業損失3千9百万円)となりました。一方で、北米・欧州における日本文化人気がの高まりと円安効果による海外子会社の好調な業績が、赤字圧縮に寄与し、経常利益0.9百万円(前年同四半期の経常損失2千9百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は4百万円(前年同四半期の親会社株主に帰属する四半期純損失2千7百万円)となりました。

当社の経営理念「私たちは文化事業を通じて、国際社会に貢献します」のもと、社員一同気持ちを新たに80周年、100周年に向けて国際社会に貢献する文化産業企業としての使命を果たして参ります。当社グループでは更に全社的に一層の売上拡大と経費節減を徹底することにより利益を確保し、株主の皆様方の期待に応えるべく役員一同業務の向上に努める所存でございます。

株主の皆様方におかれましては、今後ともなお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年12月



JPT イチオシ情報

オムニバス／グレイテスト・ジャズ・レジェンズ(10枚組CDセット)

ジャズ史に残る名盤19作品を完全収録した価値ある
10枚組ボックス・セット



マイルス・デイヴィス、ジョン・コルトレーン、ビル・エヴァンス、アート・ブレイキー、ウェス・モンゴメリー他、ジャズの巨匠たちによる名盤19作品を完全収録した10枚組ボックス・セット。50年代後半～60年代初期に発表された作品を中心に、永遠に語り継がれるジャズの名盤だけを厳選した究極のアルバム・コレクションです。

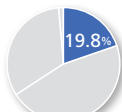
オムニバス／オールド・ハワイアン・カフェ(2枚組CDセット)

ハワイのゆるやかな時間を感ぜさせる極上の
オールド・ハワイアン名曲集

ハワイの偉大なるアーティスト達による貴重な音源を集めた2枚組ハワイアン・ミュージック・コレクション。ハワイのビング・クロスビーと称されるアルフレッド・アパカ、ハワイアン・ギターの名手レオナード・クワン、ウクレレの名手ロイ・スメックまで、ハワイのゆるやかな時間を感ぜさせる極上のアイランド・ミュージックをお楽しみ頂けます。



出版物・雑貨輸出事業

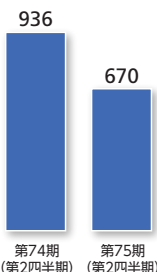
セグメント別
売上高構成比率売上高 ● **670**百万円 (前年同期比 9.0%減)営業利益 ● **23**百万円 (前年同期比0.2%増)

当第2四半期の概況

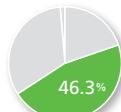
輸出事業は、北米向けには教育機関向け日本語学習教材、大学図書館向け学術出版物の売上が堅調に推移したほか、メーカー各社との協業による現地展示会出展が奏功し、小売店向け文具・雑貨類の売上も伸長いたしました。また、アジア向けには商品の機能性と良質性を新たな販路へもアピールした結果、文具・雑貨類の売上が好調に推移いたしました。長期低落傾向である出版物は苦戦を強いられました。欧州向けには、クールジャパン戦略等による日本文化への興味の高まりにより、日本語学習教材や文具・雑貨類の売上が伸長したものの、ロシア向けのCD販売が新譜の力不足等により大きく落ち込むなか、他国分で売上の底上げができず、全体としては減収となりました。利益面では、専門システム開発費用等の営業費用が増加したものの、円安の影響に加え、原価の低減に努めた結果、原価率が改善したため、営業利益は微増となりました。

その結果、当部門の売上高は6億7千万円(前年同四半期比9.0%減)、営業利益は2千3百万円(前年同四半期比0.2%増)となりました。

売上高の推移 (百万円)



メディア事業

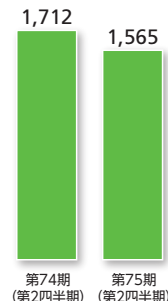
セグメント別
売上高構成比率売上高 ● **1,565**百万円 (前年同期比 8.6%減)営業利益 ● **0.7**百万円 (前年同期比94.3%減)

当第2四半期の概況

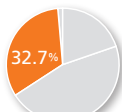
輸入CDに関しては、ジャズ、ポップス、クラシックを中心に自社オリジナルの新シリーズの投入、大手販売店とのプライベート商品シリーズの強化に努め、ネット関連のチャネルに関しても販売を強化してまいりましたが、国内音楽市場の冷え込みは厳しく、K-POP等の新譜の不振、円安による原価上昇も悪要因となり、厳しい状況が続いております。雑貨関連に関しても、音響ヘッドフォンの新製品導入が下半期にすれ込んだことが影響し、減収となりました。利益面では、円安の影響を大きく受けたことに加え、競争の激化により原価率が悪化しました。広告宣伝費をはじめとする営業費用の圧縮に努めたものの、大きな減益となりました。

その結果、当部門の売上高は15億6千5百万円(前年同四半期比8.6%減)、営業利益は0.7百万円(前年同四半期比94.3%減)となりました。

売上高の推移 (百万円)



洋書事業

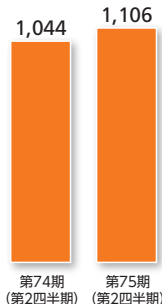
セグメント別
売上高構成比率売上高 ● **1,106**百万円 (前年同期比6.0%増)営業損失 ● **28**百万円 (前年同四半期は3千4百万円の営業損失)

当第2四半期の概況

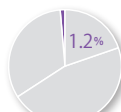
英語テキストに関しては、大学の採用目(教科書)販売が堅調に推移したほか、英語塾、英会話学校など新たな販路も拡大いたしました。また、東南アジア留学生の増加を背景に日本語テキストの販売も順調に推移、関西方面に大規模な洋書コーナーを設けた書店様が outletし、その初期在庫売上也も寄与したことから増収となりました。利益面では、円安の影響が若干あったことに加え、競争の激化により原価率が悪化しましたが、自社物流センターの合理化をはじめとして営業費用の圧縮に努めた結果、赤字の圧縮につながりました。

その結果、当部門の売上高は11億6百万円(前年同四半期比6.0%増)、営業損失は2千8百万円(前年同四半期の営業損失3千4百万円)となりました。

売上高の推移 (百万円)



不動産賃貸事業

セグメント別
売上高構成比率売上高 ● **39**百万円 (前年同期比2.6%減)営業利益 ● **20**百万円 (前年同期比2.4%減)

当第2四半期の概況

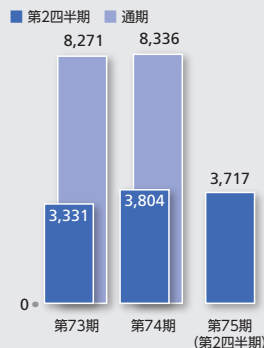
本社でのテナント事業は、昨年度末近くに1社テナントの退出があったものの、全体としては堅調に推移いたしました。

その結果、当部門の売上高は3千9百万円(前年同四半期比2.6%減)、営業利益は2千万円(前年同四半期比2.4%減)となりました。

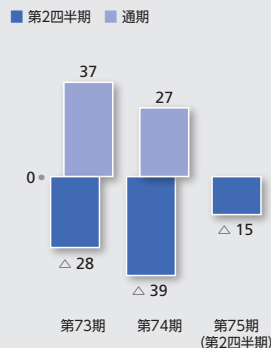
売上高の推移 (百万円)



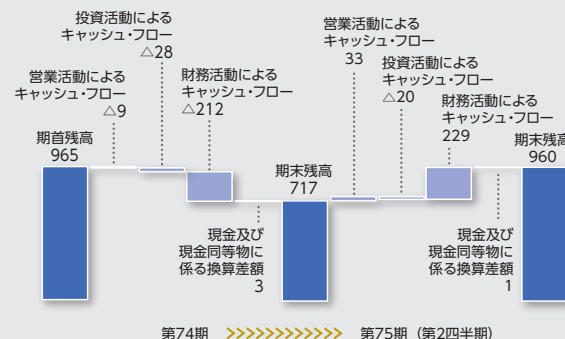
売上高 (百万円)



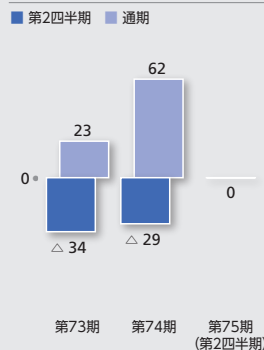
営業利益 (百万円)



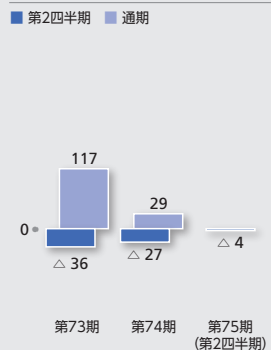
キャッシュ・フローの状況 (百万円)



経常利益 (百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (百万円)



財務コメント

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ10億5千3百万円減少し、46億5千7百万円となりました。

これは主に流動資産で受取手形及び売掛金が11億7百万円、前渡金が2億2千3百万円減少したことが要因です。大学等への英語教科書の春季販売分の回収により受取手形及び売掛金が減少し、年間購読雑誌の出荷により前渡金が減少しております。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ10億3千万円減少し、32億9千4百万円となりました。

これは主に流動負債で支払手形及び買掛金が9億3百万円、前受金が3億4千1百万円それぞれ減少し、固定負債で長期借入金が1億7千万円増加したことが要因です。資産について記載した大学等への英語教科書の仕入代金支払により支払手形及び買掛金が減少し、年間購読雑誌の出荷により前受金が減少し、事業展開のための資金の安定化を図るため長期借入金が増加しております。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は13億6千3百万円となり前連結会計年度末に比べ2千3百万円減少しております。

これは主に配当金2千万円の支払いにより利益剰余金が減少したことが要因です。

以上の結果、自己資本比率は29.3%(前連結会計年度末は24.3%)となり、5.0ポイント増加しております。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、2億4千3百万円増加し、9億6千万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間における営業活動による資金の増加は3千3百万円(前年同四半期は9千9百万円の資金の減少)となりました。

これは主に売上債権が11億8百万円減少し、仕入債務が9億4百万円減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間における投資活動による資金の減少は2千万円(前年同四半期は1千6百万円の資金の減少)となりました。

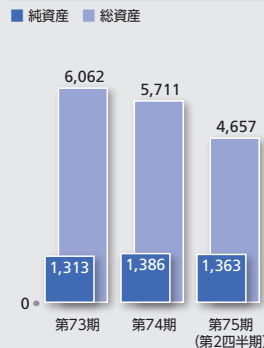
これは主に有形固定資産の取得に1千4百万円、無形固定資産の取得に5百万円をそれぞれ支出したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

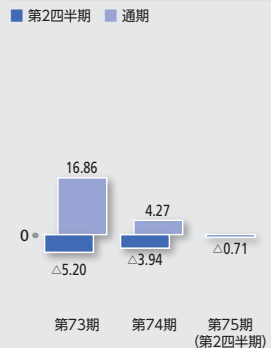
当第2四半期連結会計期間における財務活動による資金の増加は2億2千9百万円(前年同四半期は1億2千1百万円の資金の減少)となりました。

これは主に、資金の安定化を図るために長期借入2億5千6百万円(純増)を行ったことによるものであります。

純資産／総資産 (百万円)



1株当たり四半期(当期)純利益 (円)



株式の状況 (平成27年9月30日現在)

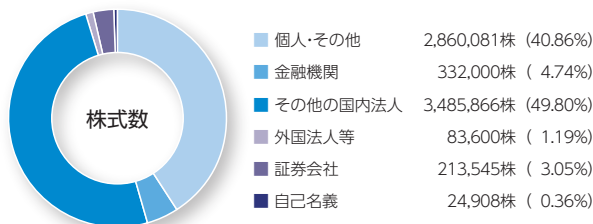
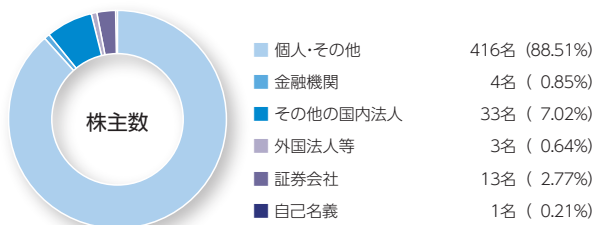
発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	7,000,000株
株主数(自己名義除く)	469名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社トーハン	1,500,000	21.50
中林三十三	1,044,000	14.96
丸善株式会社	700,000	10.03
株式会社講談社	554,000	7.94
ファーストインベスターズ株式会社	241,000	3.45
株式会社三井住友銀行	240,000	3.44
濱田聖史	164,000	2.35
松井証券株式会社	141,000	2.02
日本出版貿易取引先持株会	134,000	1.92
小島幸雄	90,000	1.29

(持株比率は、自己名義株式を控除して計算しております。)
(持株比率は、小数点第2位未満を切り捨てて表示しております。)

所有者区別株式分布状況



会社概要 (平成27年9月30日現在)

商号	日本出版貿易株式会社
代表者	代表取締役社長 綾森 豊彦
創立	昭和17年1月28日(1942年)
資本金	430,000,000円
従業員数	113名
本社所在地	〒101-0064 東京都千代田区猿樂町一丁目2番1号
営業所	大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島三丁目12番15号 第5新大阪ビル503号 九州営業所 〒810-0022 福岡市中央区薬院四丁目5-2 ARKヴィラ薬院206号
事業内容	書籍、雑誌等一般出版物、学術文献、各種教材、音楽関連ソフト及び雑貨品等の輸出入並びに国内販売、不動産の賃貸及び管理。

役員・監査役

代表取締役社長	綾森 豊彦	取締役	林 恭彦
常務取締役	近藤 隆一	常勤監査役	宮川 修
常務取締役	吉澤 和宏	監査役	片岡 義正
取締役相談役	中林 三十三	監査役	中村 康一
取締役	松並 恒次	監査役	志村 真嗣

子会社・関連会社

JPT AMERICA, INC.
CULTURE JAPON S.A.S.
JPT EUROPE LTD.
HAKUBUNDO, INC.
株式会社日貿出版社



ホームページのご紹介



当社では、会社案内をはじめ取り扱い商品、IR情報の他、様々な情報をお伝えするホームページを開設しています。是非、ご覧下さい。

日本出版貿易

検索

 <http://www.jptco.co.jp/>

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ (スタンダード)
期末配当金受領株主確定日	3月31日
公告の方法	当社の公告方法は、電子公告といたします。 公告掲載URL http://www.jptco.co.jp/ (ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない時は東京都において発行される日本経済新聞に掲載いたします。)
株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-232-711 (通話料無料) 〔受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)〕 ホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/

ご注意

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

 **日本出版貿易株式会社**

〒101-0064 東京都千代田区猿樂町一丁目2番1号
TEL: 03-3292-3751 <http://www.jptco.co.jp/>

